

## ロータリー： 変化をもたらす

No.01168 2017.11.6 第15例会

◆本日のプログラム

11月6日  
「健康未来経営プロジェクト」  
マーシャルアーツクラブ株式会社  
監査取締役 濱口 正悟 様

◆次回のプログラム

11月16日(木曜日)  
クラブフォーラム(R財団)  
ロータリー財団委員会  
委員長 横山 俊彦 会員

◆理事・役員(2017.7～2018.6)

会	長	大	響	よし江
副	会	坪	井	雅 弘
幹	事	樋	口	芳 紀
副	幹	日	笠	伸 之
理事・S.A.A.		小	菅	英 司
副 S.A.A.		橘	高	正 剛
会	計	末	吉	賢 多
理事・職業奉仕		相	原	利 行
理事・社会奉仕		入	江	直 人
理事・国際奉仕		西	岡	貞 則
理事・青少年奉仕		嶋	井	利 典
理事・会員増強		花	房	茂 二
理事・プログラム		仲	田	錠 道
理事・親睦活動		植	田	俊 弘
理事・ロータリー財団		横	山	和 彦
直 前 会 長		岡	本	夫 千
次 期 会 長		竹	本	代 子



## ROTARY: MAKING A DIFFERENCE

地区のスローガン

「TAKE ACTION」

クラブのスローガン

「BELIEVING IN (良いことを信じる)」

## 岡山北西ロータリークラブ

●例会場 岡山市北区駅元町1-5 ホテルグランヴィア岡山

●例会日 毎週月曜日 12:30～13:30

国際ロータリー 第2690地区 第9グループ  
事務所 〒700-0902 岡山市北区錦町1-8 岡山県木材会館4階  
TEL(086)222-9590・222-0384 FAX(086)224-4288  
E-mail : hokusei@ok6rc.jp <http://okayama-hokusei-rc.jp>

友好クラブ 京都朱雀ロータリークラブ  
E-mail:suzakurc@mbox.kyoto-inet.or.jp

## 前回10月30日の例会記録

### 出席の状況

会員数 54名 (内出席免除 2名) 出席者数 40名 欠席者数 14名  
出席率 75.47% 前々回訂正 88.68%  
欠席者 福元, 加戸, 鴨井, 笠原, 川本, 木本, 家守, 児島, 大賀, 大畑, 鈴木, 丹治, 樋田, (渡辺)

### ゲスト

オブザーバー 藤木希実子 様  
映画「ブランカとギター弾き」監督 長谷井宏紀 様、長谷井美智子 様  
映画配給会社トランスフォーマー 代表取締役 石毛栄典 様

### S.A.A.

副S.A.A. 橋高正剛

大饗会長：長谷井宏紀様、(有)もみの社長でいらっしゃいます宏紀様のお母様、長谷井美智子様、配給会社トランスフォーマーの社長、石毛栄典様、本日はお忙しい中ご訪問下さいまして、ありがとうございます。長谷井美智子様は、この例会場に花が咲いたような気がいたします。ステキなお召し物に感動いたしました。

樋口幹事：・久松会員、イニシエーションスピーチ楽しみにしています。  
・長谷井様、ようこそお越し下さいました。

小松原会員：本日はベネチア国際映画祭でたくさんの賞を受賞された長谷井監督、お母様の美智子様、石毛社長、ようこそお越し下さいました。お話楽しみに拝聴させていただきます。

日笠(伸)会員：藤木様、ようこそお越し下さいました。

橋高会員：現場が台風の被害もなかったのでスマイルします。楠会員、御対応ありがとうございます。

坪井会員：この土曜日に、香川済生会病院とソフトボールの練習試合をします。私もバットの素振りをしています。勝利を信じてスマイルします。

6件 16,000円 (累計 501,000円)

### 会長報告

会長 大饗 よし江

大山(だいせん)が望める地域にお住まいの方はいつも大山に手を合わせてきました。それは大山に調べてもらっているからだそうです。ブナの森が育む水は、里へ、海へ、そして山へと循環し山裾の地域に豊かな恵みを与えます。大山の恵みをいただければ体が調い、その空気を吸えば息が調い、その懐に身をゆだねれば心が調います。



### 幹事報告

幹事 樋口 芳紀

- ① 11月のロータリーレートは1 \$ =114円です。
- ② ガバナー事務所より、地区大会につきましてお礼状が届いております。
- ③ 「歴史同好会」第15回定例会のご案内、写真同好会のご案内を配付しておりますのでよろしく願いいたします。
- ④ 盲導犬くらぶ会報第88号、他クラブ週報を回覧いたします。



### 例会プログラム

#### イニシエーションスピーチ

久松 哲生 会員

皆さん、こんにちは。10月から、坪井先生、中田社長のご紹介で入会させて頂きました久松哲生です。入会を認めて頂き心より感謝申し上げます。

まず、生い立ちからお話しさせていただきます。私は昭和50年生まれの42歳です。生まれたのは宮崎県です。母の実家の宮崎県の高原町です。母の実家が産婦人科を営んでおり、そこで生まれました。のんびりとした霧島連山の麓の田舎も田舎、今や駅は無人駅です。先日、噴火でニュースになった新燃岳の麓です。天照大神が降り立った天孫降臨の地ともされています。天孫降臨の話は父から飽きるほど聞きました。父は近くの三股町というところの出です。ここで、祖父も医院を営んでおりました。ただ、ここにいたのは生まれた時だけで、その後は岡山に戻り、幼・小・中・高と岡山で育ちました。幼稚園から中学校までは岡大付属です。

家族は、父・母・兄・姉です。三兄弟の末っ子です。私にはそそっかしいところがあります。小さい頃は怪我が絶えない子供でした。幼稚園入園試験前、鬼ごっこ中に高椅子へ飛び乗り、そのまま向こう側へ転げ落ちました。結果、左肩を骨折してしまいました。そして、そのまま入園試験を片手で受けることになってしまいました。運よく合格できたのが不幸中の幸いでした。また、小学校に入るや否や、忘れもしない自分の誕生日に、バスの後ろから飛び出し、車にはねられました。ずいぶん飛ばされたそうですがケガはなく、ジブリアニメの様にすぐに立ち上がり親の元に駆けて行ったそうです。親も動揺していたのでしょう。気づいたときには、当たった車はいなくなっていました。結果、ひき逃げという形になりました。

中学校進学後はハンドボール部に入部、またもや左手首を骨折しました。ですが、この時がこのロータリークラブへの入



会への岐路だったかもしれません。仲の良い友達がテニス部にいました。右手は使えるので、テニス部で遊んでいるうちに、テニス部に転部しました。その後、テニスが縁で坪井先生と出会い、このロータリークラブに入会させて頂いた、というわけです。

私は現在、「久備」という会社の代表取締役です。「久備(きゅうび)」は「ひなた薬局」を運営しております。会社を興したのが2年半前。薬局を始めたのがちょうど2年前です。社員はパートを入れても7・8人程度の極々小さな会社です。薬局のコンセプトとしては、気軽に寄れる薬局です。そのために、明るい雰囲気作りを心がけております。建物は外から見ると看板がなければカフェに見えるかもしれません。飴やチョコレートにレトルト食品も売っています。一応、糖を控えた飴にカロリーを抑えたレトルト食品(カレーやハヤシライス、親子丼等)です。雑穀米も売っています。オリーブ園のオリーブを使った化粧水やシャンプー、入浴剤、そして食用のオリーブ油も販売しています。ただ、気軽に寄れるといってもまだまだです。

さて、みなさんはどういったときに調剤薬局に行かれますでしょうか。最近では、医薬分業として薬局が増えています。病院、クリニックで処方箋を受け取り処方箋を持って、前の薬局に行くでしょう。では、みなさんは調剤薬局をどう思われていますでしょうか。

- ・外に出て行かなければならないので不便。 ・病院で話した症状について再度聞かれて面倒。
- ・薬を用意するのに時間もかかり、会計にも時間がかかる。おまけに高くなる。

なんのメリットがあるのか。といった感じでしょうか。それは、その通りだと思います。私の薬局でも、当初、そのような話を患者さんから聞きましたし、私もそう思っていました。全国の薬局でアンケートを取ると、不満のトップは待ち時間です。では、なぜ薬局が必要なのか。色々ありますが、一つ言えるのは、患者さんに寄り添って薬の話を聞くために薬局はなければならないということです。病院では話さないことや、病院に行くほどではない話を聞くことです。

先日、こんなことがありました。糖尿病の患者さんが血糖値を計る器具を持って来局されました。「このペン、カチって言わないの。壊れたのかしら。」うちの薬局で出している器具ではありません。大きい病院で貸し出されたものでした。病院に行くと聞くのは恥ずかしいと思われたのでしょうか。メーカーに問い合わせをし、使い方を説明しました。壊れているのではなく、使い方の問題でした。すると「処方箋も持ってないし、お金も取らないのなら、悪いわね。何か買って行こうかしら?」とおっしゃっていただきました。「いえいえ、また相談に来てください。顔を拝見させていただきだけで結構です。」と答えたところ、「ありがとうございました。また、来ます」と言ってくださいました。その患者さんは、それから来てくださいます。

今、調剤薬局は変わろうとしています。ただ、薬を出すだけの薬局は終わりです。薬局経営の諸先輩方、生意気言って申し訳ございません。処方箋通りに薬を棚から出し、粉を混ぜ、軟膏を練る。錠剤を分包する。そして、患者にそのまま出す。それだけなら、お金さえかければ機械でもできるでしょう。じきに、患者さんが処方箋を機械に通しさえすれば薬が出てくることになるでしょう。これでは、院内で出す方が良いのではないのでしょうか。これだけで良いと思えば、調剤薬局はなくなります。昔から町には薬局がありました。調剤薬局が生まれる以前から。少なくなりましたが今でもあります。そのような薬局には、処方箋はないですが、地域の人が相談に寄り、薬以外の世間話をする。人と人がつながっている場所でした。私は、そのような町の薬局と調剤薬局を融合したような薬局を目指したいと思っています。患者さんの1年、2年先、5年、10年先をみすえて相談にのる。そして、薬と言えは「ひなた薬局」と思っただけ、信頼関係を築いていける薬局にしたいと思っています。もうすでに、進み始めている薬局もあります。私も遅れないように頑張ろうと思います。父から以前「医者とは、なるときは理系だけど、なつてからは文系も大事。人と人だから。」と言われました。薬剤師ではない、理系でもない私が作れる薬局。人と人がつながり、生活を支え、本人も家族も明るく生きていける、その手助けができる薬局。そして、人が温かくなる薬局。「ひなた」薬局。そんな薬局を作りたいです。どうしたら人が寄ってくれるのか、何をすればよいのか、流行りのワークショップはどうだろうか、と悩める日々です。何かアドバイスがあれば宜しくお願いします。

最後になりましたが、このスピーチを考える上で、自分のこれまでを振り返ることができました。この様な機会を頂きありがとうございました。更にこれから親睦を深め、仕事を通じて、ロータリーを通じて地域奉仕活動を行いたいと考えております。今後とも宜しくお願い致します。ご清聴ありがとうございました。

**「ブランカとギター弾き」** 長谷井 宏紀 監督  
始めてロータリークラブにお邪魔させて頂きました。始めてではありますが、後ろに掲げられてあります「四つのテスト」の中の”言葉”や、クラブソングの中の歌詞には私も想っていること、目指しているものなど、共感できるものがあります。

私はたくさんの国を旅してきました。そこで見たもの・聞いたもの・触れたものを形にしたのが今回の作品、『ブランカとギター弾き』です。是非、ご覧になって頂き、何かを感じて頂ければ大変、うれしく思います。



大門からいよいよ真言密教の聖地高野山の山域である。東西にのびるメインストリートに沿って、寺院や商店が建ち並んでおり、一大宗教都市の感がする。世界遺産に指定されて以来、外国人の来訪者が増えている。ガイドに導かれて仏像や建物の案内に聴き入っている。十世紀には落雷のため伽藍の諸堂塔のほとんどすべてを焼失するという衰えようであった。しかし十一～十二世紀の摂関・院政期になると、摂関家・王家の登山が相次ぎ、寄進が増えていった。しだいに「入定信仰」「高野山信仰」が広まり、寺領・寺勢が盛んになっていく。最大で千二百もの僧坊があったという。

さて空海である。生い立ち、朝廷から受けた待遇など何かにつけて伝教大師最澄と対比される空海だが、生涯をかけて密教に身を投じた姿を想うとき、意志の強さや心身ともに頑健なことはいうまでもないが、論理的、戦略的ならびに完璧主義的思考・行動に宗教界の巨人をみる思いがする。幾多の寺院のなかでも金剛峯寺、壇上伽藍、霊宝館は必見ものとの説明を受け、拝観してまわった。壇上伽藍では、朱塗りの大塔が目を引き、50mの高さのインド風の巨大な塔ゆえこれまで幾度となく落雷による焼失をうけてきた。現在の建物は昭和12年に再建されたものである。大正時代の建築である霊宝館で、空海の本筆とされる国宝の「聾瞽指帰」の複製版を見ることができた。空海が24歳の時の著作で、儒教、道教、仏教のうちから、仏教を選ぶにいたった理由が述べられている。三筆の一人に数えられる空海の字風・書体に感銘を受けた。

旅の最後は、一の橋から弘法大師御廟まで約2kmの参道を歩いた。数十万基といわれる諸大名の苔むした五輪塔や庶民の墓、祈念碑、慰霊碑の数々が杉木立のなかに立ち並んでいる。十一世紀以降の高野聖といわれる集団の活躍で、巨大な墓地が形成されたのであろう。御廟橋から先は聖域とされ、身も心も正してお参りをした。

高野山を下って紀ノ川の河畔を走っていると、阿波の吉野川の光景にどこか似ている感じにとらわれた。南北を山地に挟まれ、中央構造線地帯をほぼ直線的に大きな河川が走るということだろうか。紀の川柿を買い求め、高野山より京奈和自動車道に上った。途中、平安時代末期、一時期高野山座主で異端ゆえ山を追われた覚鑿(1095～1143)開基の根来寺の近くを通った。覚鑿を祖とする派は新義真言宗とよばれているが、寺は戦国時代、鉄砲をもって武装化し、根来衆として怖れられていた。豊臣秀吉によって滅ぼされるまで威勢を誇っていた。車は岩出市の西端で阪和自動車道に合流し、暮れていくなかを岡山をめざしてひたすら走った。(おわり)



総本山金剛峯寺にて

11月お祝い行事



談山神社にて

ロータリーの友11月号 会報部会よりご案内

RI会長のメッセージ

世界のどこか、おそらく行ったこともないような所で、一生出会うこともない人々に対しロータリー財団はポリオ撲滅活動を行っています。財団のおかげでロータリアンは大きな望みを持ち、その実現のために努力すれば不可能はほとんどない、と確信できているのです。(3Pの一部を抜粋)

また『友愛の広場』で他クラブの活動、イタリア、フィレンツェ・ブルネレスキRCでのメイクアップなどの記事があります。内容盛りだくさんですので一度、お目通しをお願いします。

例会情報

本日のメニュー (11月6日)

丼 海鮮丼 (鰯 鱈 鯛 サーモン 烏賊 いくら  
大葉 煎り胡麻 山葵 がり 県産昔醤油)

小鉢 春菊と焼湿地の胡麻和え

焚合 ピーチボークの角煮 (馬鈴薯餡掛け 青身 紅葉人参 溶き辛子)

小皿 葱入りだし巻 染卸し 赤出汁

次回のメニュー (11月16日(ヘルシーメニュー))

魚のポワレ 野菜のエトウフェ ベルノー酒風味

百合根と赤キャベツのサラダ

デザート コーヒー パンとバター



前回メニュー(10月30日)  
牛フィレ肉の網焼きとガスバチヨ味のクスクス